

松山市消防団 第一方面隊 潮見分団と連携訓練を実施しました

みなさんこんにちは。中央消防署城北支署です。

さて、みなさんは消防団とその活動についてご存じでしょうか。

消防団は普段様々な仕事に就いている人が、火災や風水害などの災害が発生した時、地元を守るために活動している組織であり、災害対応力を高めるため、定期的に訓練を実施しています。

そして今回（令和4年5月14日）、中央消防署城北支署で訓練を実施したのは松山市消防団第一方面隊潮見分団です。

第一方面隊潮見分団が担当する潮見地区は、蓮華寺などの神社仏閣が多数存在し、山間部ではかんきつ類の栽培が盛んな歴史あるエリアです。また、松山市の主要道路である国道196号線沿いには大型店舗が立ち並ぶなど活気が溢れています。

第一方面隊潮見分団（総員46名）は地域に根付いた災害対応を行い、潮見地区の住民を災害から守ってくれています。

訓練内容は、第一方面隊潮見分団が迅速で確実な現場活動ができることを主眼とし、城北支署（中4小隊）と連携した訓練も併せて行いましたので、訓練写真を交えながらご紹介します。

1. ホース延長や放水圧力について説明した座学

消防ホースの特性や放水圧力の決定方法などを理解し、現場活動に活かします。



訓練開始挨拶



消防ホース損失と放水圧力の説明

2. ポンプ車の取水・操作訓練

今回訓練に参加した方々はポンプ運用にも携わるとのことであり、車両運用の注意点や取水操作の説明を受け、実際に操作訓練を行うことで確実なポンプ運用を身に付けました。



防火水槽からの取水方法



消防車両からの取水・操作訓練

3. 第一方面隊潮見分団と中央消防署城北支署（中4小隊）の連携活動

第一方面隊潮見分団のポンプ車による確実な取水操作と、中央消防署城北支署（中4小隊）ポンプ車への中継送水を行い、連携強化を図りました。



消防車両からの放水訓練

これからも、中央消防署城北支署と第一方面隊潮見分団は深く連携し、地域住民を災害から守るために訓練を継続してまいります。